

授業計画 【第11回】	免疫
授業計画 【第12回】	突然変異
授業計画 【第13回】	ヒトのライフサイクル
授業計画 【第14回】	さまざまな生命現象と遺伝子
授業計画 【第15回】	分子栄養学とバイオテクノロジー
授業の到達目標	・ DNA、RNA、遺伝子発現などについて理解する。 ・ 食品成分と遺伝子の関係について理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	授業計画内容に関する情報を収集して予習を行うこと。
授業時間外学習【復習】	講義内容をノートに記録し、1回の講義あたり1時間程度の復習を行うこと。
課題に対する フィードバック	小テストは、評価後に返却します。最終試験は、試験終了後に解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 小テスト (20点) 2) 定期試験 (80点)
テキスト	・ 八杉貞雄 編 「ヒトを理解するための生物学」 裳華房社 (2014)
参考書	・ 加藤, 藤原 編 「分子栄養学」 羊土社 (2014) ・ 榊原 編 「分子栄養学」 建帛社 (2003) ・ 石川統 「生化学」 サイエンス社 (1995) ・ 池内俊彦 「生命を学ぶ タンパク質の科学」 オーム社 (1999) ・ 森和俊 「細胞の中の分子生物学 最新・生命科学入門」 ブルーバックスB-1944 講談社 (2016)
備考	教員免許 (中学・高校: 理科) を得るための必要科目である。